

保護者の皆様

一般社団法人石川県バスケットボール協会
会 長 宇野 邦夫
【公印省略】
ユース育成委員長 黒島 啓之

石川県育成センターにおける問診票確認・同意書記入のお願い

時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素より、当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では将来のバスケットボール日本代表・県代表を担うジュニア世代の育成と事故防止を目的として、問診票の記載をお願いしております。つきましては、保護者の皆様には、問診票の各項目を記載不備が無いように記入していただいた上で、同意書の「参加選手が制限なく練習に参加できる」にチェックしてください。

また、昨今、突然死を来すような疾患を持ちながら競技バスケットボールに参加している事例が増加しており、死亡例も確認されております。突然死を起こす可能性があるマルファン症候群は高身長が特徴であり、バスケットボールでは特に注意されるべきです。そこで、当協会では、健全な選手育成と共に、スポーツ活動のみならず日常生活における突然死を予防するために、マルファン症候群に関しての情報提供と啓発活動を行っております。つきましては、「マルファン症候群は、突然死を起こす可能性のある疾患です」を確認していただき、参加選手とマルファン症候群についての理解を深めていただいた上で、同意書にチェックを入れてください。また、必要に応じて専門科(年齢により循環器内科または小児(循環器)科)受診をご検討頂けますようお願いいたします。

なお、当協会では、選手選考の一条件としてマルファン症候群と診断または強く疑われる選手に関しては参加を認めていないことをご理解ください。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<参考：専門科受診をすすめるポイント>

1. 問診票(緊急連絡カード)に記載された医療情報の1項目のいずれかに○があるが、これまでに病院受診をしていない。
2. 心大血管疾患、不整脈の既往歴があり、最近2年以上検査を受けていない。
3. 心臓病(肥大型心筋症)、不整脈(QT延長症候群など)、若年での突然死の家族歴がある。
4. マルファン症候群、若年での大動脈疾患の家族歴がある。
5. マルファン症候群を疑われ過去に検査を行い問題なかったが、3年以上経過している。
6. 水晶体脱臼の既往歴がある。
7. 別紙「マルファン症候群は、突然死を起こす可能性のある疾患です」に示す身体チェック項目に複数あてはまる。